

CHIHIRO HOSOKAWA PLAYS BILL EVANS RAVEL JAZZ

CLASSIC X JAZZ 2020

細川千尋 プレイズ

ビル・エヴァンス

ラヴェル ジャズ

バッハ＝グノー／アヴェ・マリア

ジョゼフ・コスマ／枯葉

ビル・エヴァンス／ワルツ・フォー・デビイ

アレックス・ノース／ラブ・テーマ・フロム・スパルタカス

サド・ジョーンズ＝細川千尋／“A Child Is Born”の主題による

“ジャズ”変奏曲

細川千尋／黎明—Reimei—

細川千尋／ラヴェルの主題による“ジャズ”狂詩曲

モーリス・ラヴェル／亡き王女のためのパヴァーヌ

モーリス・ラヴェル＝細川千尋／ボレロ

2020/2/8 土 19:00 | 18:15 OPEN
ザ・シンフォニーホール

共演

井上陽介—ベース
セバスティアン・カプティン—ドラムス

[チケット]

全席指定：4,000円(税込)

[発売日]

- ・ Sinfonia会員先行：2019年9月19日(木) 10:00～
- ・ イープラス先行：2019年9月21日(土) 12:00～26日(木) 18:00
- ・ 一般発売：2019年9月28日(土)

※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。

[プレイガイド]

- ・ ザ・シンフォニー チケットセンター：
06-6453-2333(10:00～18:00火曜定休)
<http://www.symphonyhall.jp>
- ・ イープラス：<https://eplus.jp/>
- ・ チケットぴあ：0570-02-9999【Pコード：162-902】
- ・ ローソンチケット：0570-084-005【Lコード：51502】
0570-000-407【オペレーター対応 10:00～20:00】

主催：テレビマンユニオン／ザ・シンフォニーホール | 協力：キングレコード株式会社 | お問い合わせ：テレビマンユニオン 03-6418-8617(平日10:00～18:00)

※都合により出演者、曲目、曲順などを変更させていただく場合がございます。

CLASSIC×JAZZ 2020 細川千尋プレイズ ビル・エヴァンス ラヴェル・ジャズ

CHIHIRO HOSOKAWA PLAYS BILL EVANS RAVEL JAZZ

細川千尋 | ピアノ・作曲

Chihiro Hosokawa, piano, composition



富山県出身。幼少よりピアノが大好きで、時間があればピアノに向かっていた。

数々の賞を受賞し、2013年には、スイスのモントルー・ジャズ・フェスティバル・ソロ・ピアノ・コンペティションにて、日本人女性初のファイナリストとなる。同年11月、富山でソロ・コンサートを行い、モントルー・ジャズ・フェスティバル・イン・かわさきでは、チュー・ヴォ・ヴァルデス公演のオープニング・アクトを務め、連弾で共演。2014年4月にはアルテリッカルしんゆり芸術祭にてソロ・コンサート、8月にはミュゼ・川崎シンフォニーホールでガーシュウインのラプソディ・イン・ブルーをオーケストラと共演。9月、モントルー（スイス）で行われたセプテンバー・ミュージックにソロで出演。川崎市アゼリア輝賞受賞。これまでに、イタリア、スイス、ベルギーでソロ・リサイタルを開催。幅広いジャンルの演奏活動を国内外で行っている。クロスオーバーなオリジナル曲とトークも交えたソロ・ピアノコンサートは、高い評価を得ている。2017年2月14日には大阪・ザ・シンフォニーホールにて大阪交響楽団をバックに熱演を披露、大好評に終わり、1年後に再演。録音では、2014年11月に全曲ソロ・ピアノ・オリジナル作品のデビューCD「Thanks!」を、2016年2月にはセカンド・アルバム「I'm home!」を発表。2017年11月リリースの「CHIHIRO」では、自身初となるピアノトリオ編成でのレコーディングを行い、同年12月に浜離宮朝日ホールにてピアノトリオライブを開催。2019年2月紀尾井ホールにて「モーツァルト・ジャズ」と題しクラシック曲のジャズ・アレンジを披露し好評を博す。ビル・エヴァンスの魅力に迫ったメジャー1stアルバム「My Variations」を2019年9月18日キングレコードよりリリース。

昭和音楽大学大学院修了。現在、昭和音楽大学附属ピアノアートアカデミーに在籍。江口文子氏に師事。

井上陽介 | ジャズベース

Yosuke Inoue, jazz bass

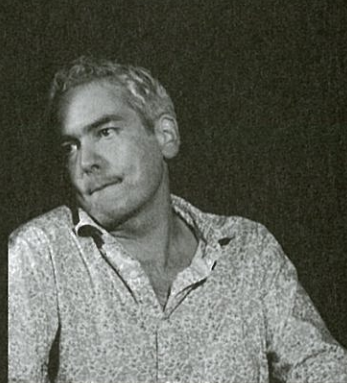


1964年7月16日、大阪生まれ。大阪音楽大学作曲科卒。91年よりニューヨークを拠点に活動。97年には初リーダーアルバム「スピークアップ」を発表をリリース。在米中、ドン・フリードマン、ハンク・ジョーンズなどの数々のグループでのレコーディングやライブハウスやヨーロッパツアーでの演奏など国際的に活動。2004年には活動の拠点を日本に移す。2017年の「Good Time Again」まで8枚のアルバムをリリース。2019年1月に武本和太(P) 濱田省吾(Ds)とレコーディングした9枚目の新しいアルバム「New Stories」をリリース。なお2007年度から3年連続スイングジャーナルの人気投票では1位など常に上位にランクされる。現在、自己のグループ他、堀谷哲トリオ、大西順子、渡辺香津美のレギュラーメンバーとして活動の他、数々のセッションに参加し日本のみならず海外でも精力的に活動。ジャズのみならず絢香、佐藤竹善、Superfly、JUJUなどのポップスのサポートでも活動。

セバスティアン・カプティン

ドラムス

Sebastiaan Kaptein, drums



ドラム奏者 1969年、オランダ生まれ。幼少からチェロを学び、14歳の時にドラムスを始め、アフリカの打楽器に興味を持つ。1996年、グローニンゲン音大を卒業後、New Yorkに渡り多くの打楽器奏者からレッスンを受ける。これまでトウーツ・シールマンズ、ミカエル・ボーストラブ・トリオ、マイク・デル・フェロー・トリオ、ジェシ・ヴァン・ルーラー、トーン・ロース・グループ(2000年オランダ・ハード賞を獲得)、ジャメズ(2000年オランダ・ジャズコンペティション優勝)、ラ・ヴィーダ・ニュー・オルリンズ・バンド、ブラッド・メルドー(Pf)、フランシエン・ヴァン・トウイネン(Vo)、ステファン・カシュテンセン、ハリー・サクシオーニ、アーネスト・ラングリン、デボラ・カーター、タイス・ヴァン・レア等と共演、数多くのツアーや録音を行っている。欧州、アフリカ、アジアなど40ヶ国以上で演奏している。



2019年9月18日リリース 細川千尋最新アルバム

MY VARIATIONS CHIHIRO HOSOKAWA

ジャズとクラシックの世界を縦横無尽に表現するピアニスト「細川千尋」のメジャー1st。ビル・エヴァンスの魅力に迫った、美しくも激しく、カラフルなピアノ・ジャズ・アルバム。

収録曲

1. Waltz for Debby
2. Nardis
3. Autumn Leaves
4. 黎明 -Reimei-
5. Kaleidoscope in the Dark
6. Love Theme from Spartacus
7. Ave Maria
8. "Jazz" Variations on a Theme of A Child is born
9. Peace Piece

キングレコード KICJ-831

¥3,000(税別)



CHIHIRO

(2017年11月19日)

テレビマンユニオン

TVU-S-4-002